

見 本

〇〇大会

【チーム応援団による応援ガイドライン】

【はじめに】

(大会主催者が作成)

1. 基本方針

チーム応援団関係者は試合、移動、宿泊等にあたって、密閉、密集、密接を避けること等を常に意識しながら行動する。

2. 感染予防対策

(1) マスクの着用について

原則として個人の判断に委ねる。

(2) 手指衛生の励行

手洗い、消毒用アルコール剤による手指衛生を徹底する。球場に入る際には、入り口でアルコール消毒液による消毒を行う。

(3) 出来るだけ人込みを避ける

3つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）を避ける。公共交通機関を利用する場合は、混み合う時間帯をできるだけ避けるように注意する。

(4) 毎日の健康チェックと行動記録の記入

① 健康チェック：咳、咽頭痛、倦怠感、食欲低下の有無。

② 行動記録：食事や出向いた場所、同行者を、症状発生時に「**行動動記録表**」【別紙①】に記載できるよう準備しておく。(医療機関等から提出指示がある場合に備える)

(5) 宿泊施設において

① 起床直後に検温を行い、37・5℃以上の場合は外出を控える。

② 宿舍では、1人部屋（もしくはシングルユース）かつ同じフロアに宿泊することが望ましい。

③ 食事は、隣同士との距離を空ける。

④ 不要な外出は控える。

(6) 移動について

バス等での移動については、利用ごとの車内の消毒、移動時の車内換気を徹底する（必ず窓を開けて行う）

(7) 球場に入る際

関係者受付（入口）で検温を行い、37.5℃以上あった場合は、球場への入場を禁止する。

(8) 試合中の応援

観客などと正対して大声を発する場合はマスク、またはフェイスシールドの着用を推奨する。

(9) 応援スタイルについて

以下の応援は可能とする（いずれも開催自治体や球場等施設管理者に確認すること）

- ・ 肩組み、飛び跳ね当集団での動きを伴う応援
- ・ 指笛の応援
- ・ トランペット、ホイッスル等の鳴り物応援
- ・ ビッグプレー、ファインプレー等でのハイタッチ
- ・ 電子ホイッスル、拡声器の使用
- ・ 拍手応援
- ・ 太鼓リードによる拍手
- ・ 応援タオルを横に広げて左右に振る、もしくは回す
- ・ フラッグ（手旗）やうちわを振る応援
- ・ ビッグフラッグや大型の応援旗を振っての応援

※上記に記載のない場合は、主催側に確認すること。

3. チーム応援団関係者から感染者が発生した場合について

医療機関の指示に従う。大会主催者に報告する。

4. その他

本ガイドラインに記載されていない対応については、大会主催者が判断する。

※参考文献

- 1 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和3年11月19日（令和5年1月27日変更）新型コロナウイルス感染症対策本部決定）
- 2 スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和2年5月14日（令和4年12月26日改定）・公益財団法人日本スポーツ協会）
- 3 スポーツ活動再開時の新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防について（令和3年3月19日更新・日本スポーツ協会）
- 4 新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領（令和3年11月29日版・国立感

染症研究所 感染症疫学センター)

- 5 日本野球機構（NPB）新型コロナウイルス感染予防対応マニュアル（令和5年2月21日）
- 6 基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について（令和5年1月27日内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長事務連絡）
- 7 マスク着用の考え方の見直し等について（令和5年2月10日新型コロナウイルス感染症対策本部）
- 8 第95回記念選抜高等学校野球大会 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（令和5年2月22日）
- 9 Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン（令和5年3月2日）

